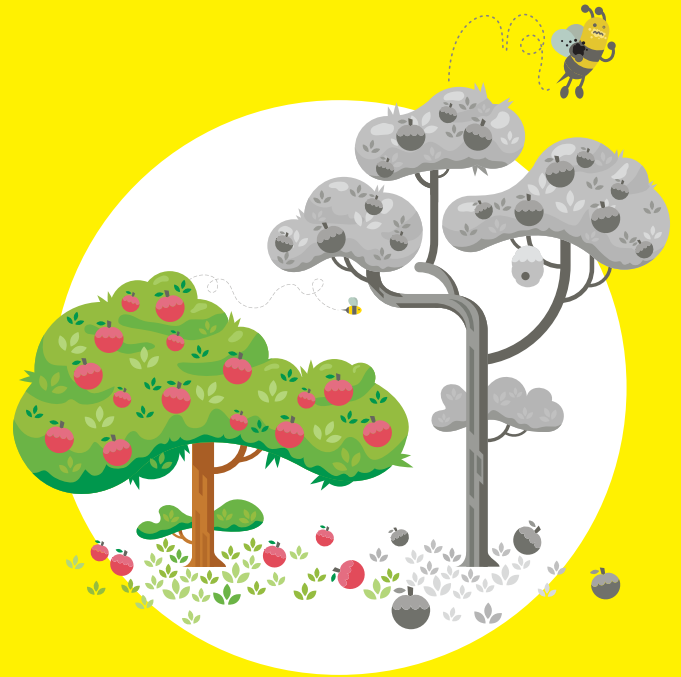
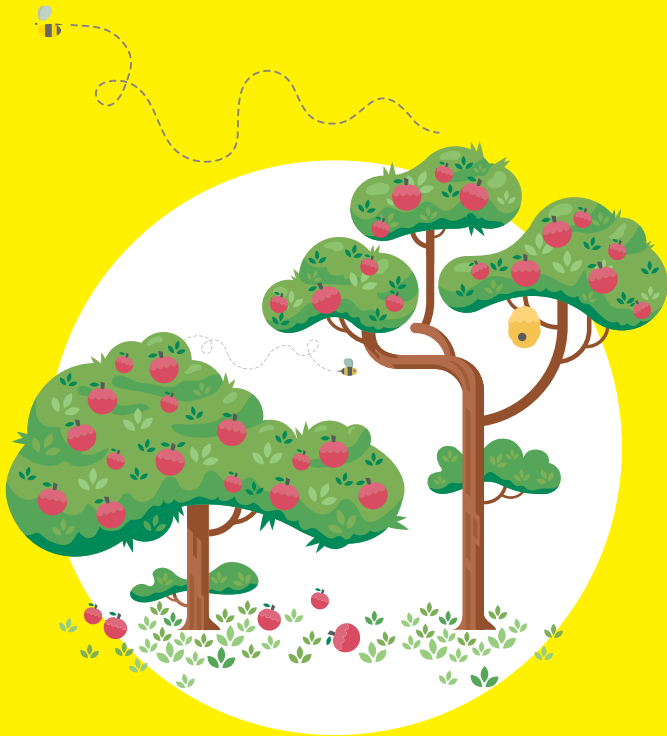


# ネオニコチノイド系農薬って？

No Bees, No Life:

Questions about Systemic Pesticides

<http://www.actbeyondtrust.org/>



<http://www.actbeyondtrust.org/>

## ネオニコチノイド系農薬？

Systemic pesticides?

農地や松林などで害虫駆除剤として大量に使われています。



ヘリコプターで空中散布

ハチの大量死と関連?\*\*\*

水と一緒に植物の隅々まで浸透

地上で散布

粒状、粉状、液状、  
作物の種子にコーティング

タバコに含まれるニコチンに似た成分(ネオニコチノイド\*)をベースとする殺虫剤です。1990年代に登場し、現在世界で一番使われている殺虫剤といわれています。

\*一般にネオニコチノイドと呼ばれる化合物は、アセタミプリド、イミダクロプリド、クロチアニジン、ジノテフラン、チアクロプリド、チアメトキサム、ニテンピラムの7種類。これに作用がよく似たフィプロニルを加え、ネオニコチノイド系農薬と呼ぶことが多い。

\*\*ハチのコロニーが崩壊にいたるため、アメリカでは「蜂群崩壊症候群」と呼ばれている。原因と疑われるものは複数あり、まだ科学的に確定されていないが、ネオニコチノイド系農薬は主因のひとつと考えられる。

\*\*\*ペット用ノミ駆除剤：アドバンテージ、キャプスター、フロントラインなど

家庭園芸用：レインボーフラワーEXII、アースガーデンQ、ベニカDスプレー、オルトランDX粒剤など  
家庭用殺虫剤：アリの巣徹底消滅中、コバエがホイホイ、ブラックキャップなど

\*\*\*\*2013年12月に、EUは「ネオニコチノイド系農薬2種とヒトの神経発達障害に関連がある可能性」を公式発表した。これはラットの細胞を使った実験の報告をもとに、既存のデータや情報を専門家が調査して導かれた結論。これにより、ヨーロッパでは今後、ネオニコチノイド系農薬への規制がますます厳しくなることが予想される。

家庭や身の回りでも使われています。\*\*\*



ゴキブリやシロアリなどの害虫駆除剤

神経発達障害と関連?\*\*\*

ペットのノミ取り

ガーデニング用の殺虫剤

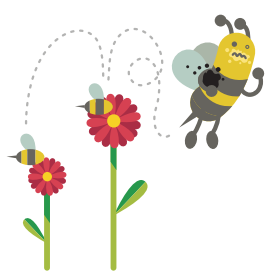
# どんな農薬？ どんな影響があるの？

What are they? What's their impact?



## ハチは農家にとっても大切！

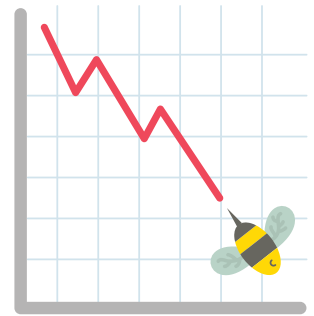
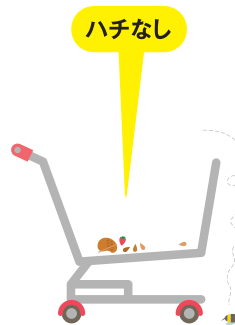
Be Good to Bees!



ハチは花から花へ花粉を運ぶ「花粉媒介者」

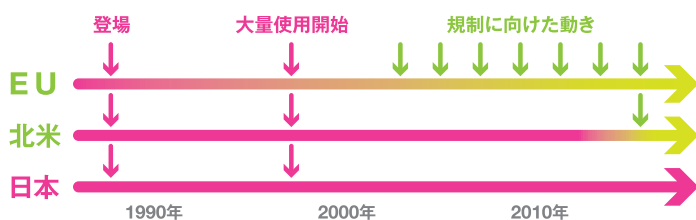


100種類もの農作物が実をつけるのを助け、生産効率だけでなく品質にも大きく影響



## 日本は遅れてる!?! 対策へのとりくみ

Falling Bee-hind in Actions and Restrictions



EU

- 3種類のネオニコチノイド系農薬とフィプロロニルが2年間暫定的に使用禁止
- 神経発達障害との関連を懸念する見解を公式発表



北米

- 「ハチへの危険性」を警告するラベル表示の義務化



日本

- 規制なし
- 残留基準の緩和
- 認知度も低い

### 本を読む

『ミツバチ大量死は警告する』岡田幹治(集英社新書)  
『新農業ネオニコチノイドが日本を脅かす』水野玲子(七つ森書館)  
『ハチはなぜ大量死したのか?』ローワン・ジェイクソンの(文藝春秋)  
『美味しんぼ(105巻)』 雁屋哲作・花咲アキラ画(小学館)  
『新農業ネオニコチノイドが脅かすミツバチ・生態系・人間』  
NPOダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議  
<http://kokumin-kaigi.org/wp-content/uploads/2011/03/Neonicotinoid2012-11.pdf>(PDF版無料ダウンロード可)

まずはネオニコチノイド系農薬をもっとよく知りましょう!

### ネットで調べる

アクト・ビヨンド・トラスト <http://www.actbeyonddtrust.org>  
NO!ネオニコ <http://no-neonico.jp/>  
できることからやってみる  
グリーンピース・ジャパン <http://www.greenpeace.org/japan/>  
ミツバチ認証 <http://bee-garden.jp/mitsubachi.html>